



## 第24回院内コンサートの様子

遠藤 真理様(チェロ)と小林 有沙様(ピアノ)をお迎えし、2024年5月11日(土)に第24回院内コンサート開催しました。

### 出演者コメント

フォーレは今年が没後100年に当たるメモリアルイヤーです。大好きな2曲を入れました。チェロらしい温かみのある音色を堪能していただけたらと思います。

遠藤 真理

本日は耳馴染みの良い曲を、皆さんと近い距離で演奏をさせていただくことで、コンサートホールでは感じられない私たちの息遣いなど、様々なことを感じてもらえるのではないかと思いますので、どうぞお楽しみください。

小林 有沙





## 第24回院内コンサートのプログラム

### 出演者ご紹介

遠藤 真理 Mari Endo



©Yusuke Matsuyama

第72回日本音楽コンクール第1位、2006年「プラハの春」国際コンクール第3位（1位なし）、08年エンリコ・マイナルディ国際コンクール第2位。  
ジャン・ピエール・ヴァレーズ、小林研一郎、山田和樹など国際的に活躍する指揮者やウィーン室内管、プラハ響、ザルツブルク・ソリストらと共演するなど国内外で高い評価を得ている。ソリストとしてだけでなく読売日響のソロ・チェロ奏者も務める。CDはエイベックスクラシックから7枚リリースされており、テレビや映画演奏の他に、2012年から8年間NHK-FMラジオ「きらクラ！」（全国放送）のパーソナリティを務めるなど幅広く活躍中。2009年菅藤秀雄メモリアル基金賞受賞。  
オフィシャル・ホームページ：<http://endomari.com>

フォーレは今年が没後100年に当たるメモリアルイヤーです。大好きな2曲を入れました。チェロらしい温かみのある音色を堪能していただけたいと思います。

遠藤 真理

小林 有沙 Arisa Kobayashi



©Yoshinori Kurosawa

モロッコ王妃国際ピアノコンクールにて審査員満場一致で優勝し併せて最優秀ドビュッシー演奏家賞を受賞するなど、国内外で数多くの賞を受賞している。指揮者山田和樹氏、飯森範親氏らと共演する他、銀座王子ホールなどでのソロリサイタルも行い、室内楽の分野ではその音楽作りやピアノリズムについて高く評価され、ニューヨークフィル首席奏者やウィーンフィルのコンサートマスター率いるシュタイデルカルテットと共演。レコード芸術誌で準特選盤を含む4枚のCDをリリース。桐朋女子高等学校音楽科を卒業。桐朋学園大学入学後すぐにローム音楽財団より奨学金を得てベルリン芸術大学に留学。卒業後はウィーン国立音楽大学にて研鑽を積む。現在、昭和音楽大学、洗足学園音楽大学、東京音楽大学非常勤講師。

本日は耳馴染みの良い曲を、皆さんと近い距離で演奏をさせていただくことで、コンサートホールでは感じられない私たちの息遣いなど、様々なことを感じてもらえるのではないかと思いますので、どうぞお楽しみください。

小林 有沙

### 湘南鎌倉総合病院 院内コンサート

～看護の日スペシャルコンサート～

2024年 5月11日（土）  
15:00～15:30

遠藤 真理（チェロ）  
小林 有沙（ピアノ）

### Program

- ◆ サン＝サーンス：白鳥
- ◆ フォーレ：夢のあとに
- ◆ フォーレ：エレジー
- ◆ ファリャ：火祭りの踊り
- ◆ グラナドス：アングルーサ
- ◆ シューマン：アダージョとアレグロ

主催：湘南鎌倉総合病院・院内コンサート実行委員会

♪ アンコール曲：エルガー作曲「愛の挨拶」

## 第24回院内コンサートのプログラム

### 曲目解説

#### ● カミーユ サン=サーンス：白鳥

フランスの作曲家、カミーユ・サン=サーンス（1835-1921）作曲の組曲『動物の謝肉祭』（1886年）の第13曲。チェロ特有の豊かで暖かい響きが美しい旋律を描き、チェロの独奏曲として最も人気のある小品の一つ。ミハイル・フォーキンが振り付けたバレエ『瀕死の白鳥』でも知られる。バレエ作品は1905年にロシアで初演されて以来、多くのバレリーナに踊り継がれており、七里ヶ浜にバレエ学校を開き、鎌倉をバレエ発祥の地としたエリアナ・パプロワも上演した記録がある。

#### ● ガブリエル フォーレ：夢のあとに

フランスの作曲家、ガブリエル・フォーレ（1845-1924）作曲の歌曲。夢の中で美しい女性と出会い幻想的な時を過ごした男性が、夢から覚めたあとに女性の幻影を返してくれと叫ぶ歌詞。「夢のあと」に感じる喪失感と切なさを描いた哀愁に満ちた甘美なメロディが魅了し、様々な楽器で演奏され器楽曲としても愛されている。

#### ● ガブリエル フォーレ：エレジー ハ短調 作品24

エレジーは日本語では「哀歌」「悲歌」と訳され、この作品でも悲しみに満ちたメロディをチェロが歌い上げ、ピアノとの掛け合いが心に響く。恋多き作曲家として知られるフォーレが、婚約者から婚約を破棄された影響があった時期の作品とも言われる。

#### ● マヌエル デファリャ：火祭りの踊り

スペインの作曲家、マヌエル・デ・ファリャ（1876-1946）作曲の代表作である民族豊かなバレエ音楽『恋は魔術師』の中の一曲。スペイン、アンダルシア地方の伝統音楽であるフラメンコと管弦楽が結びつき、ミステリアスで情熱的なロマの文化を感じさせる作品。ピアノの出だしから一瞬でアンダルシアの地へ誘われる。

#### ● エンリケ グラナドス：アンダルーサ

スペイン（カタルーニャ）の作曲家でありピアニスト、また教育者として活躍したエンリケ・グラナドス（1867-1916）によるピアノ曲『スペイン舞曲集』の第5曲。ギターを彷彿とさせる音型で始まり、印象的でロマンティックなメロディーが続く。ギターや、チェロ、ヴァイオリンなどでも演奏される人気曲。グラナドスは伝説のチェリスト、パブロ・カザルス（1876-1973）と友人であり、チェロとピアノ編はカザルスの手による。

#### ● ロベルト シューマン：アダージョとアレグロ 変イ長調作品70

ドイツ・ロマン派を代表する作曲家、ロベルト・シューマン（1810-1856）が1849年2月に4日間という驚異的に短い時間で作曲した独奏ホルンと伴奏ピアノによる室内楽曲。その後シューマン本人によるチェロ版やヴァイオリン版が編曲されている。

〈アダージョ〉変イ長調 4分の4拍子。ゆっくりと、心からの表情を持って。ピアノとチェロがロマンティックなメロディーが紡ぎ、二つの楽器、二人の演奏者の対話がシューマンの世界へ引き込む。

〈アレグロ〉変イ長調 4分の4拍子。急いで、そして燃えるように。一転して二つの楽器が共に勢いを増し、推進力を持って曲の終わりへと進んでいく。湧き上がるエネルギーと音楽に身を委ねる心地よさを感じてほしい。

## ♪ アンコール曲：エルガー作曲「愛の挨拶」